

コーパス開発

SEMANTIC-CORPUS

発表言語: 英語

"Development of a Semantic Corpus with High Precision and Its Influence on University Education"

高度な意味情報を持つコーパス開発とその大学教育における意義

2012年10月17日(水)12:10～12:50 (40分間・発表25分、質疑応答15分ほど)

場所 | 東北大学川内北キャンパス講義棟4階 C402

発表 | アラスデア・バトラー 研究員

プロフィール: 高等教育開発推進センター吉本研究室所属, 専門 - 形式言語学, 意味論
University of York (英国) で Ph.D. 取得。アムステルダム大学, 国立シンガポール大学, 日本学術振興会を経て,
現在, 独立行政法人科学技術振興機構さきがけ研究員。

電子化されたテキストに様々な文法情報を付加したデータベースはコーパスと呼ばれ、言語研究への応用が広がりつつある。本講演では、講演者が現在研究・開発を行っている、日本語および英語の意味情報付きコーパスについて報告する。このようなコーパスの利用が一般化すれば、言語研究にとどまらず、広く社会・産業への影響が大きい。その大学教育との関連についても考えを述べる。

申込み不要。当日参加歓迎。お気軽にご参加ください。



セミナーに関する問合せや発表の申込みはこちらまで:

高等教育開発推進センター人文社会科学 教授 芳賀 満 e-mail: mhaga@m.tohoku.ac.jp tel: 3371

高等教育開発推進センター事務室 鎌田 裕子 e-mail: caheoffice@he.tohoku.ac.jp tel: 7551

| 主催: 東北大学高等教育開発推進センター 企画: 人文社会科学教育室